



No. 2973

第3291回例会

平成24年3月21日

DISTRICT 2500 OBHIHIRO ROTARY CLUB

2011-12年度
国際ロータリーのテーマ

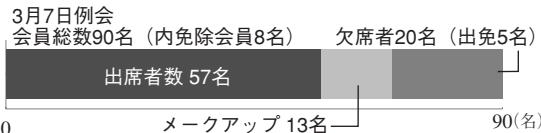
方針

ロータリーを学び
共に楽しもう

会長 加藤 維利

Reach Within to Embrace Humanity

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

出席
報告

■プログラム「政治家とリーダーシップ」



お話をいただいたときに、任にふさわしくないと
思い、何度かお断りしたのですが、自分を鍛えると
いう意味でもお引き受けいたしました。よろしくお願
い申し上げます。欧米のロータリアンの政治家の
指導力や決断をご紹介しながら、現在の日本の政治
について個人的な意見を申し上げたいと思います。

さて、2011年の「3.11」は、私たちの生き方を考え直す大きな転機となりました。2001年の米国の「9.11」米国中枢同時テロの時もそうでした。ただ、この二つの国難を比較してみると、政治家の言動のあまりの違いに驚くものがあります。

9.11の時の米国大統領はロータリアンのジョージ・ダブル・ブッシュ氏でした。回想録「決断の時」によると、同時テロ発生から10分以内に、視察先のフロリダで、手書きの声明文を書き上げて、テロの発生を伝えると共に「我が国に対するテロリズムは打倒されるだろう」と結束を訴えました。「嘆き悲しんでいる暇はない」とした上で「危機への対応を成功させる第一歩は、平静を表明することだ。私はフロリダでそれをやろうとした。次に事実関係を整理して、国の安全を確保する手を打ち、被害を受けた地域の復興に努力する。そしてテロリストが二度と攻撃できないように处罚する戦略を考案する」と。NYのグラウンドゼロに駆けつけたブッシュ大統領は、がれきの山に登り、ハンドマイクで生存者の救出作業をしている消防作業員らの前で慰めの言葉を伝えました。しかし、「聞こえないぞ」のヤジが飛びました。消防士らには民主党支持者が多い町ですから。「私は言い返した。『こっちは聞こえる』。不意にどうすれば良いかわかった。『聞こえるとも。世界中があなた方の声を聞いている』と叫び心を掴みました。その上で「このビルを倒した奴らにも私たちみんなの声が聞こえるはずだ！」群衆が「USA! USA!」と唱え始めた。

この映像が国内外に流れました。ともすると、頼りがいがないとみられがちだったブッシュ大統領はこれで、米国民の心をしっかりと掴んだといつていよいです。

当時のジュリアーニ・ニューヨーク市長は回顧録「リーダーシップ」でこう書いています。「リーダーというものは、追い詰められても自分の感情をコントロールしなければならない」「パニックは禁物だ。いかなる状況に置かれても、判断力をなくしてはいけない。リーダーにはそうした平衡感覚が要求される」

「3.11」ではどうだったでしょうか。トップの首相が周囲に怒鳴り散らし、司令塔が混乱したのは、皆様もよくご存じです。

「想定外」という言葉が関係者から何度も飛び出しましたが、危機は常に想定外です。そのときに、どう判断し、決断し、行動に移すかが、事態の明暗を分けます。

政治家が責任を持って決断し、官僚がその専門的能力をフルに發揮するのが、本来の意味での政治主導でしょう。しかし、3.11以降、一致して国難に対処しなければならないのに、肝心の与党内は足並みが乱れ、党内政局が混亂を加速させました。

同時に官僚機構の無責任さも露呈しました。避難案作りの切り札とされる文部科学省所管の放射性物質の拡散方向を伝えるSPEEDIが文科省一外務省経由で米軍に流れました。保安院もその資料を使いながら、肝心の官邸にその存在すら教えなかった。

指導力という文字は「指す」「導く」からなっていますが、指示は出しても、成果を出す導き方がない、わからないのが、今の政治家たちではないでしょうか。

「政治主導」のためには、成果を導き出すためにいかに官僚を使うかが、問われています。政治主導という名の下に、民主党の過度な官

僚排除が、政と官の信頼関係を崩壊させました。

民主党の小沢さんらが、二大政党制のモデルとした英國政治の官房長官は実は官僚なのです。英國政治は、官僚を美事に使いこなして、政治主導を実現していると言っていいでしょう。

英國労働党のブレア氏は1997年5月2日に、首相官邸に初めて、首相として入りました。それまで、政府の役職に就いたことは一度もありません。彼は議員になってから、ずっと野党でしたから。

ブレア元英国首相の回顧録「a journey」にこんな記述があります。「閣議室で迎えてくれたのは、サー・ロビン・バトラー官房長官（議員でもなく、閣僚でもなく、官僚がなる）でした」「私たちはマニュフェストをすっかり読みましたよ」「私たちはあなた=ブレア=のためにマニュフェストに従って働く準備が出来ています」と言いました。「マニュフェストの中に納得のいかないものが、あっても、彼は改革推進のために尽力してくれた。イギリスの官僚制度の最良の伝統という意味合いで、公平かつ知的で、国に対してどこまでも献身的だった」と記していました。

鳩山政権が出来たときの事務官のトップ官房副長官は鈴鹿出身の方でしたが、民主党政権の政治主導という名の官僚アレルギーの前で、意思疎通がうまくいかなかったようです。むしろ、各省庁の官僚たちは面従腹背で様子見ばかりが続きました。

ロータリアンのニクソン元大統領は名著「指導者とは」でこう書いています。

「指導者として大成する人は、強い意志を持ち、他者の意志を動かす術を知っている。彼らがそうあろうと願望したのではなく、決意したからである」と。

消費増税案に見られるように、官僚の手の内で踊るのではなく、与野党の枠を越えて政治家は、官僚を動かす術を真剣に考えなければならないでしょう。

野田首相が年頭の記者会見で、ロータリアンだったチャーチル元首相の演説を引用して「ネバー、ネバー、ネバーギブアップ」と述べ、消費税と社会保障の一括改革に決意を示した。第二次大戦中の英國と現在の日本が国難であることに間違いはありません。

この「ネバー」演説は、1941年10月、寄宿学校の卒業生に向かって演説しました。当時は、ドイツとの戦争で苦境にありましたが、挙国一致内閣を作り、国民に「決してあきらめるな」と訴えました。

チャーチルはラジオや議会での演説を通して、国民を鼓舞しました。チャーチルはヒトラーの攻撃から英國を守り、第二次世界大戦を勝利に導いた「危機の政治家」です。1940年6月4日下院で

「we shall fight」を6回も述べた有名な演説があります。ドーバー海峡に面したダンケルク（フランス北端）からの英軍の撤退作戦に成功し、20万人の大陸派遣軍を本土防衛に投入できたときです。「我々は絶対に負けない。最後まで戦い抜く。フランスで、海上で、あくまでも戦うだろう。空中においても、断固たる信念と決意を持って戦う。いかなる犠牲を払っても英國を守りきるのだ。（中略）我々は戦う。絶対に屈服しない」100語余りの単語の中で、イギリス人を奮い立たせた大演説でした。

危機の時のリーダーの指導力、覚悟が国民の心を一つにしたと言えるでしょう。

チャーチルは「悲観主義者はすべての好機の中に困難を見つけるが、楽観主義者はすべての困難な中に好機を見いだす。」悲観的に評論するのは、簡単です。いかに好機を見いだし、困難な局面を切り開いていくのが眞の政治家でしょう。

さて、政治家の指導力について、今、一度考えてみます。

マックス・ウェーバー「職業としての政治」の中で政治家に必要な3つの資質を挙げています。政治家に必要なもの「情熱（的献身）」「責任感」「判断力」と、高い目標を追求する情熱。その目標を実現す

るために必要な判断力。困難な状況の中で政治家を支えるのは、责任感。結果を出し、現状を一步でも目標に近づける。政治とは情熱と判断力の二つを駆使しながら、堅い板に力を込めて、じわじわっと穴をくり貫いていく作業である、と書っています。

ニクソン元米国大統領は「指導者たち」の中で、政治家35年にあつた各国のリーダーを比較した上で「私が会った真の意味での強い指導者は、すべて、極めて英明、自己を律するのに厳しく、勤勉で満々たる自信を持ち、夢に駆り立てられ、他人を駆り立てる人であった。全員が地平線よりも先を見通すことが出来た」と述べています

さて、こうした才能があふれた政治的リーダーを今の永田町に見いだすことは出来るでしょうか。

その判断は皆さんに譲るとして、リーダーシップのある政治家が少ないといえば、その原因はどこにあるかも考えてみたいと思います。

個人的な見解ですが、今の選挙制度を改革しなければならないと思います。小選挙区制が諸悪の根源と言えるかもしれません。小選挙区制度は、党公認の権限は幹事長ら執行部が握る。公認が得られなければ、政党交付金や選挙資金もないし、比例での復活もありません。

一選挙区に1人しか議員はいませんので、明解な政策を鮮明にして、有権者の反感を買う訳にはいかない。有権者受けを狙った公約しか掲げられない。外交や社会保障制度、国家財政など天下国家の論議が小選挙区制の争点化を避けてきたとも言えるでしょう。

政権交代の二大政党制をめざすと標榜して選挙制度改革、小選挙区制が始まりましたが、小粒の政治家しか出てこれない構図が、ここにあるわけです。

「(野田、前原および彼らよりも若い民主党の若手政治家を見ていると)彼らには政治家になりたいというだけの志とひたむきさ以外に売り物がなかったと言えば意地悪に過ぎるだろうか」と民主党のブレーンだった山口二郎北大教授は岩波新書「政権交代とは何だったのか」でこう書いています。

中選挙区制度に戻すときがきているのではないですか。3年ごとに行われる参院の選挙制度も合わせて見直さなければならないでしょう。参院はかつて「良識の府」と言われた時期がありました。しかし、現状は政党化が進み、衆院のカーボンコピーです。二院制の形骸化が進んでいます。

「決められない政治」に批判が強まっていますが、衆参のねじれ現象が起きている限り、誰がやっても政治は決められないのです。ドイツのワيمアル共和国は、戦前、民主的なワيمアル憲法で、議会が機能不全に陥って、政治は大統領の緊急令の乱発によって進み、ナチのヒトラー独裁を招きました。

衆参の選挙制度の改革が愁眉の課題です。なじみが深い中選挙区だと、例えば旧5区で、十勝から有力な政治家が一度に3人も出たときもある。候補同士が切磋琢磨していく。英国のように資本家と労働者階級といった対立軸があれば、保守党と労働党という二大政党制で戦えば良いので小選挙区制もいいかもしれません、日本社会はそうした階級対立をあおる風土はない。志のある優秀な政治家を輩出する制度に戻さなければならぬと思います。

ご静聴ありがとうございました。

■会長報告



加藤 維利 会長

今月の第1例会には、ローターアクトの会長による活動報告がありました。毎年3月13日を「世界ローターアクトの日」と定めて、3月13日を含む1週間を「世界ローターアクト週間」と指定されています。国際ロータリーは各ロータリークラブに地元のローターアクトクラブとの共同プロジェクトや、親睦活動に参加するよう、呼びかけを行っています。

この3月13日は1968年、世界で最初にアメリカノースカロライナ州のノースシャーロットロータリークラブの提唱によりノースシャーロットローターアクトクラブが結成された日に因んでいます。

また、日本で最初にできたローターアクトクラブは、同じ1968年、

ロータリー情報

一枚の写真が人生に深い感動を与えることがあります。

皆さんもそんな想い出の一枚があるはずです。

亡くなった家族の写真の方もいるでしょう。

希望に燃えた人生の節目を写し取った写真もあるはずです。

東日本大震災で多くの写真を失ってしまった被災者の方々。

生き残った方々に新しい希望の想い出を撮り続けているアメリカ人ジャーナリストがいます。

アリソン・クウェッセルさん。ロータリー平和フェローとして来日し、活躍しています。

その写真を3月号の「ロータリーの友」で特集しています。

6月1日に埼玉県川越ロータリークラブの提唱で発足した、国際商科大学ローターアクトで、現在は川越ローターアクトクラブと名称を変更しています。

ところで、ローターアクトは自分の住んでいる地域社会を改善したいとか、地元や世界各地で友情の輪を広めたいとか、リーダーシップを磨きたいと考える、18~30歳までの若い男女のために、1968年に国際ロータリーが創設したプログラムです。

このプログラムは現在170余りの国や地域に8,400以上のローターアクトクラブがあります。十勝管内には帯広ローターアクトクラブがあり、帯広市内の5つのロータリークラブの提唱により結成されています。

ローターアクトのすべての活動は、地元の草の根レベルから始まります。メンバーは地域社会のニーズに取り組みながら、友情と奉仕を通じて国際理解と平和を推進して行く仕組みになっています。

ローターアクトの目標は5つあります。

- 1、専門的技能や指導力を養成すること。
- 2、他人の権利を尊重する観念を養い、あらゆる有用な職業の道徳的水準および品位を保持し推進すること。
- 3、若い人々に地域社会をはじめ世界社会のニーズおよび懸念事項に取り組む機会を提供すること。
- 4、提唱ロータリークラブと協力して活動にあたる機会を提供すること。
- 5、ロータリーにおける将来の会員となるよう若い人々の意欲を高めること。

となっています。

我々もローターアクターと接することにより、若いエキス？若いエネルギーを吸収して、平均年齢57歳の帯広ロータリークラブが、気持ちだけでも、もっともっと若々しいクラブになつたらいいなーという思いを頭に浮かべて、本日の会長報告とさせていただきます。

■会務報告

和田 賢二 幹事

- (1) 帯 広RC、次年度第1回クラブ協議会開催のご案内
日 時 3月28日(水)午後6時
場 所 十勝ガーデンズホテル
出席義務者 次年度理事・役員・各委員長
- (2) 帯広東RC、3月20日(火)の例会は、祝日のため休会と致します。
- (3) 帯広北RC、3月30日(金)の例会は、休会と致します。
- (4) 帯広東RC、夜間移動例会開催のご案内
日 時 3月27日(火)午後6時30分
場 所 幕別パークホテル悠湯館
- (5) 帯広西RC、夜間例会開催のご案内
日 時 3月29日(木)午後6時30分
場 所 北海道ホテル

■委員会報告

・出席報告

3月21日例会の報告 会員総数90名内免除会員8名出席者数53名
3月7日例会の報告 メークアップを含む出席者数は70名出席率82.4%

園尾 真一 出席委員

・ニコニコ献金

若月 誠 親睦活動委員

加藤 維利 会長

ゴルフの練習を始めました。今年は80台をめざします。

中田 隆三 会員

4月1日、丸十木材(株)釧路支店を釧路工業団地に開設して併せてツーバイフォーパネル工場も稼働いたしました。

北野 宏明 会員

本日卓話をやらせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

■配偶者様お誕生日祝い

藤森 裕康 会員

■次週プログラム予定

3月28日(木)「会員卓話」 大和田三朗 会員・三宅 弘泰 会員



例会日／水曜日 12:30~13:30

例会会場／ホテル日航ノースランド帯広

TEL0155-24-1234



↑携帯サイトができました。
バーコードリーダーで読み込む事ができます。

●創立／昭和10年3月15日 ●認証番号／3820

●戦後再開／昭和25年12月19日

事務局／帯広市西3条南9丁目 経済センタービル4F

TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行／クラブ広報

●委員長／安岡美樹夫

高原 淳・田守 由宗・北野 宏明

堀江 威光・辺見 京一・加藤 敏紀

●ホームページアドレス／<http://www.ohihiro-rc.jp>